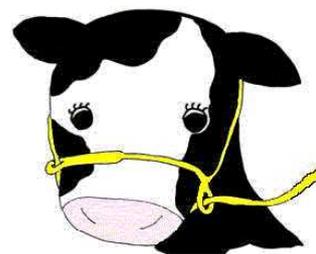


～アメリカ式もくし～

子牛の移動時などに使うアメリカ式もくしの作り方

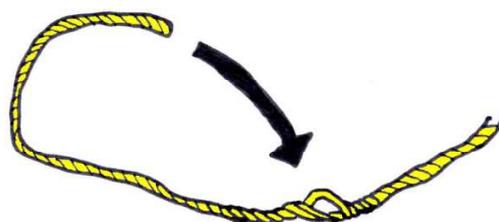


〔材料〕

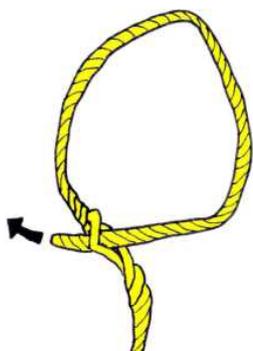
- ・ロープ（3本より 9～12mm 経） 長さ 4.5 m

〔作り方〕

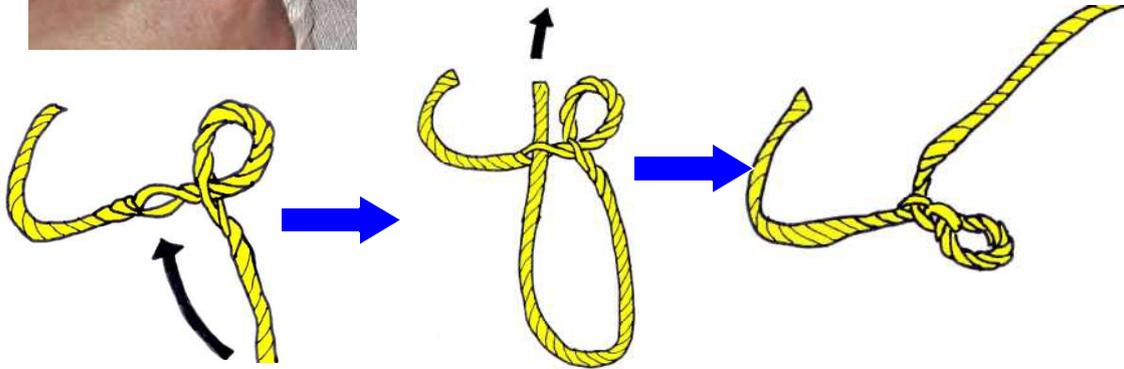
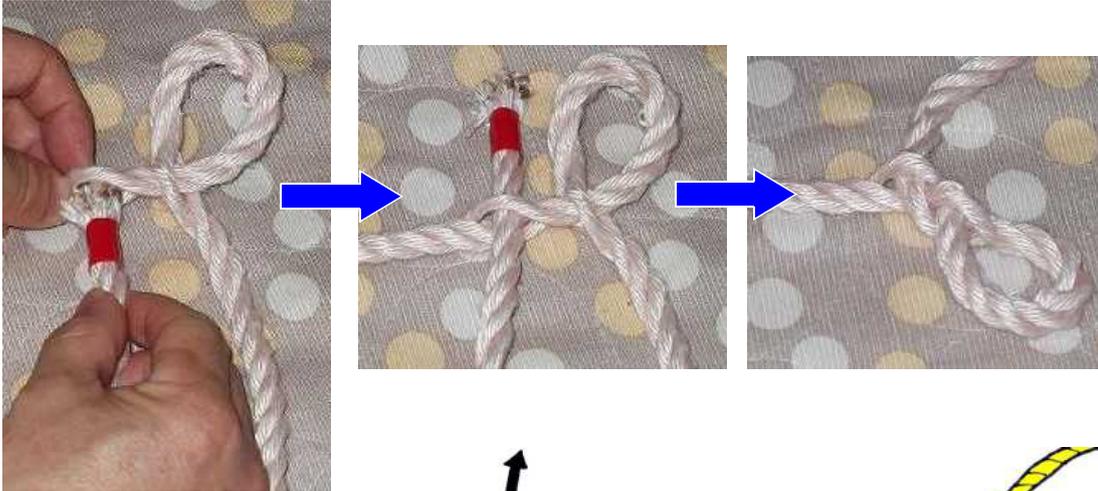
① ロープの一端から 60cm 位の所のよりをもどし、隙間を作る。



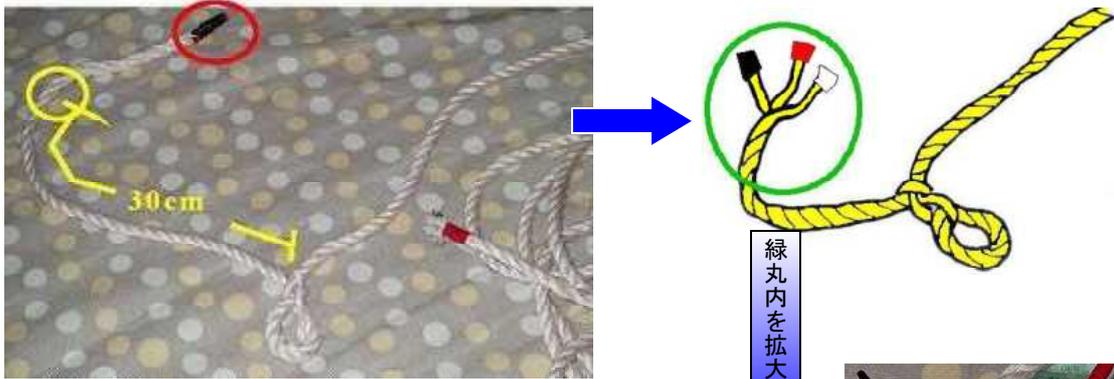
② ①で作った隙間に短いロープを通し、小さい輪ができるまでロープを引く。



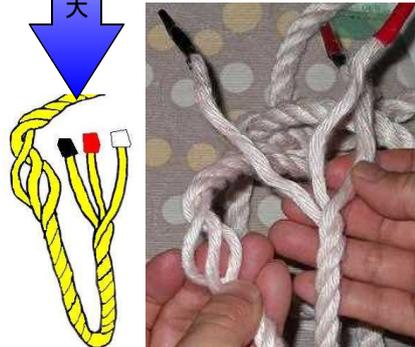
- ③ 小さい輪の根本（②の右写真の赤丸内）の部分のよりをもどし、出来た隙間に長いロープを差し込み、引き抜く。



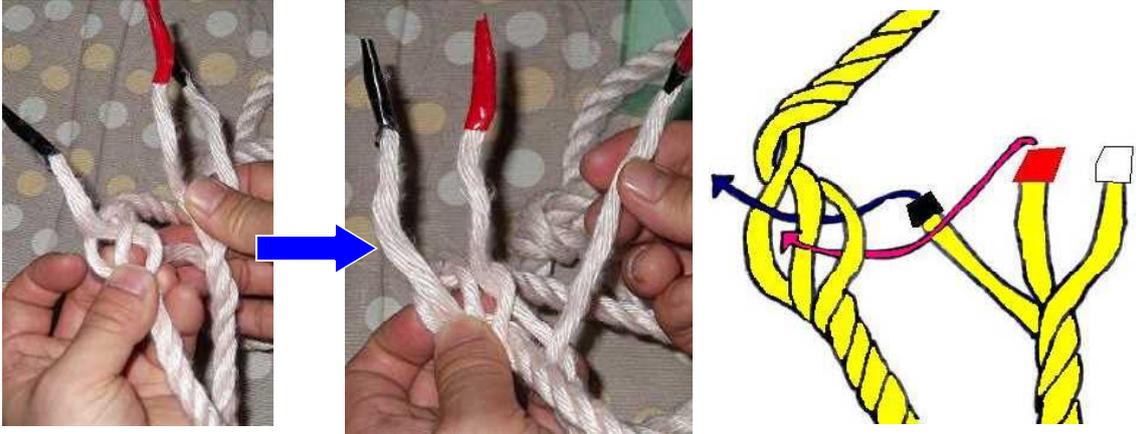
- ④ 短いロープの先端（赤丸）を3巻き（5～7 cm）程度ほどく（子縄が3本出来る）。小さい輪から30cm位の所（黄丸）のよりをもどし、隙間をつくる。右図の緑丸で囲った部分にほどいた部分と隙間を作る。



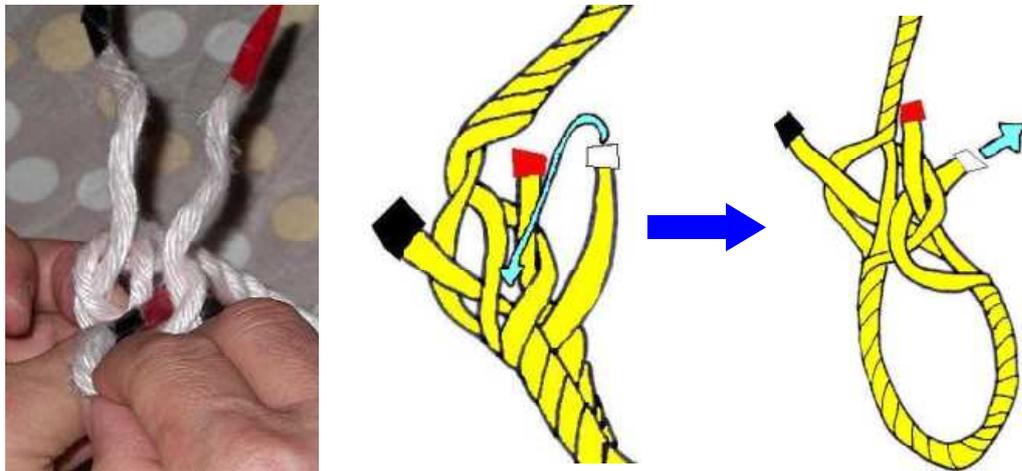
- ⑤ 先端のほどいた部分を右手、作った隙間を左手に持ち、図のように隙間と先端を近づける。



⑥ 左端の子繩を隙間の左穴に、真ん中の子繩を隙間の右穴に、それぞれ下から入れる。



⑦ 右端の子繩を隙間の右穴（隙間の中央の子繩と先に通しているほどいた真ん中の子繩の間）に上から通す。



通した子繩をひっぱると写真のようになる。

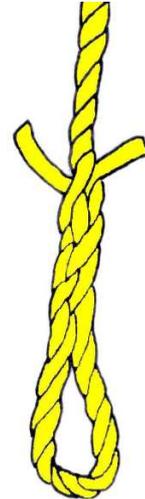
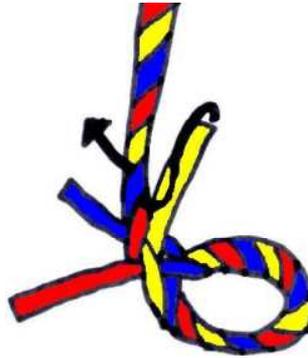


上から見た写真



横から見た写真

- ⑩ 飛び出している子縄をロープの子縄に差し込んでいく。
 飛び出ている子縄をロープの接している子縄を飛ばし次の子縄に差し込む。
 1 / 3回転ずつさせながら、飛び出ている3本の子縄を同様に差し込む。
 同様にして子縄が飛び出さなくなるまで差し込んでいく。



- ⑪ 長いロープを⑩で作った輪、④で作った輪の順に通す。
 長いロープの先端にほぐれ止め（バック・spray）を行い完成。



上に頭部、下に鼻面が入る